学校通信
おおすぎ
山形市立南山形小学校
令和５年１１月３０日
第８号
校長　沼　澤　　聡

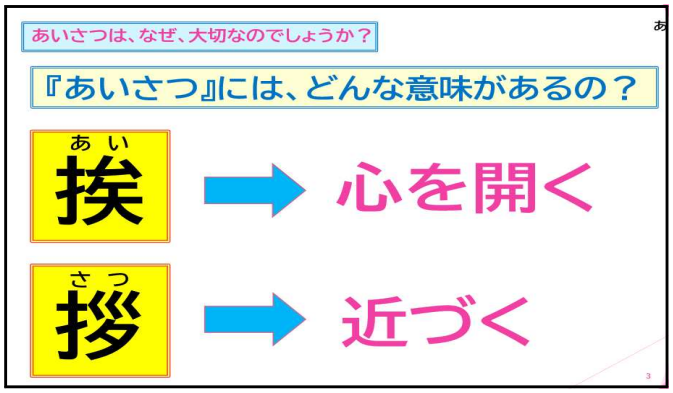
あいさつについて考えよう！

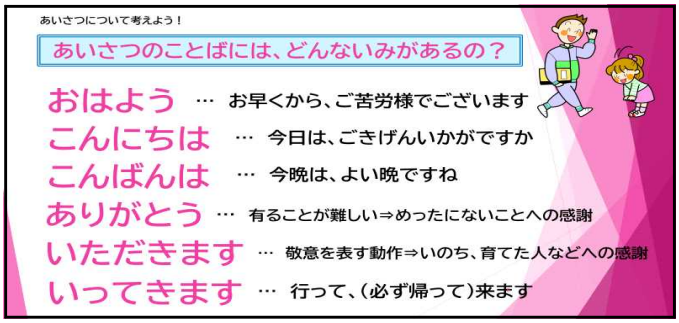
南山形小学校の子ども達は、とても明るく素直です。ちょっと話しかけると人懐っこく応えてくれるし、地域の行事等に顔を出したときには、わざわざあいさつや声をかけてくれる子どももいます。一方で、普段のあいさつの様子を見ていると、素通りしたり、そっぽを向いて機械的にするだけだったり等、まだ課題があります。そこで、今月は、児童会でもあいさつを目標にがんばっていることもあり、１１月２２日の全校朝会で、あいさつについての講話をしました。講話の主な内容は、以下の通りです。

○挨拶という漢字には、『お互いに心を開いて、相手の心に近づいていく』という意味があること。
（心の扉を優しく『とんとん』とノックすると、相手も笑顔で応えてくれる。）
○あいさつすることで、『相手と近づき、よりよい人間関係をつくる』『なかよくなるきっかけ』ができる。人間は、いろいろな人と関わりながら生きていかなければならないので、あいさつは大切であること。
○『おはよう』『こんにちは』等の日本のあいさつの言葉には、ねぎらいや気づかい、感謝等の相手を意識してのいろいろな思いがこもっていること。

また、相手意識を持って朝のあいさつをしているといつも感じている、あいさつ上手な児童２３名を、『あいさつマイスター』として紹介しました。最後に、学校運営協議会の横沢さんがプレゼントしてくださった『あいさつの栞』を紹介し、地域の方もあいさついっぱいの地区にしたいと願っているということを伝えました。

あいさつは、自分の心次第ですぐに変わります。相手を意識した素敵なあいさつが、今以上に広がればと思います。





学習発表会を行いました。

１１月２８日に学習発表会を行いました。今年は、４年ぶりに全員が体育館に集まっての発表会です。直前になってのインフルエンザ流行の影響のにより、この日は、３年生～６年生の発表を行いました。（１・２年生は、１２／６の予定です。）

学習発表会に向けて、およそ３週間に渡り、みんなで力を合わせて、学習したことを資料にまとめたり、よく伝わるように劇に表したり等、学年に応じためあてに向かって取り組んできました。本番では、ほどよい緊張感や喜びを感じながら、みんながとてもよい表情で発表をしていました。どの学年の発表も、とてもすばらしかったと思います。子ども達にとって、自分の成長や友達のよさを感じられた発表会になりました。

【３年生　山形の自慢＆ダンス】
社会で学習した山形市の自慢をまとめ、発表しました。自信を持って発表していました。ダンスも元気いっぱいでした。

【４年生　山形県の自慢・ごみ分別と5R・水害への備え・ダンス】
社会で学習した山形県のことを発表しました。劇にして、わかりやすくなるよう工夫していました。ダンスもリズムに乗って生き生きと踊っていました。

【５年生　日本の果てまでいってクー＆合奏『キリマンジャロ』】
５年生の社会では、日本全国まで範囲が拡がります。各地の特色を、劇も交えながら工夫して伝えました。キリマンジャロの合奏は、迫力十分でした。

【６年生　ワールドツアー】
総合や外国語で興味を持った国について、生活や文化等を調べ、その国の言葉も交えながら紹介しました。さすが最高学年、レベルが高かったです。最後の歌、みんなよい表情でした。